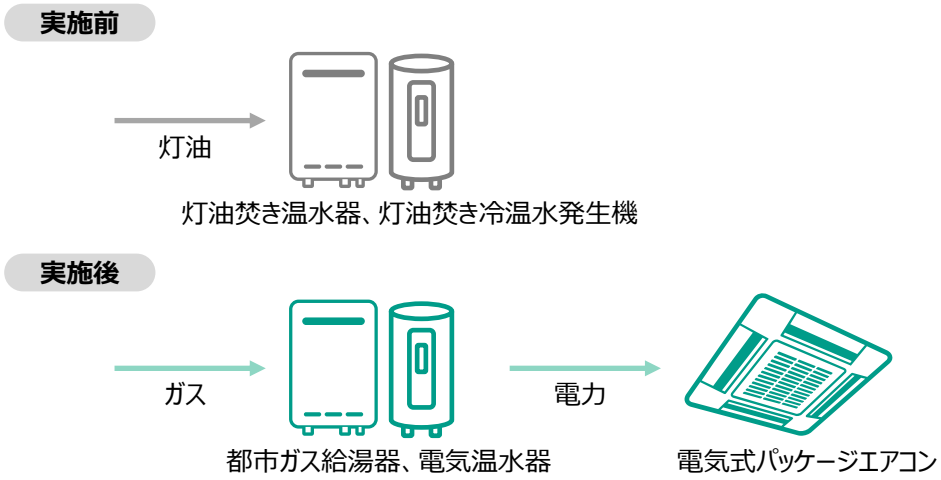
4.1 工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業〈設備更新補助事業〉

⑧新しい給湯設備と空調設備の導入による施設運営の効率化と地域貢献

事業概要

事業者概要	事業者名	社会福祉法人清里
	業種	医療／福祉
事業所	所在地	愛知県
	総延床面積	1,818m^2
補助金額	補助金額	約1,900万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	灯油焚き温水器、灯油焚き冷温水発生機
	導入設備	都市ガス給湯器、電気温水器、電気式パッケージエアコン
事業期間	稼働日	2024年1月
区分		更新
特長		設備の更新により入所者の要望に応じた柔軟な空調設定ができるようになり、施設の快適性が向上した。また都市ガスや電気エネルギーへの燃料転換により、灯油燃料不足による設備停止のリスクが解消された。さらに、メンテナンスがフリーになったことで管理の効率化が図られ、通常業務に注力できる環境が整った。騒音問題も解消し、近隣住民からの苦情がなくなり、地域との関係性も改善されている。また、設備を更新したことにより、特別養護老人ホームへの転換が可能になった。

システム図



写真

都市ガス給湯器



高効率パッケージエアコン



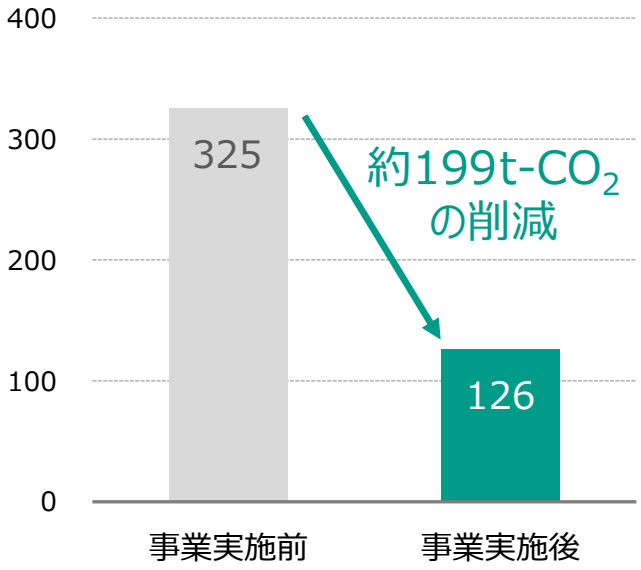
⑧新しい給湯設備と空調設備の導入による施設運営の効率化と地域貢献

事業の効果

エネルギーコスト削減額		約928万円／年
投資回収年数	補助あり	約7年
	補助なし	約9年

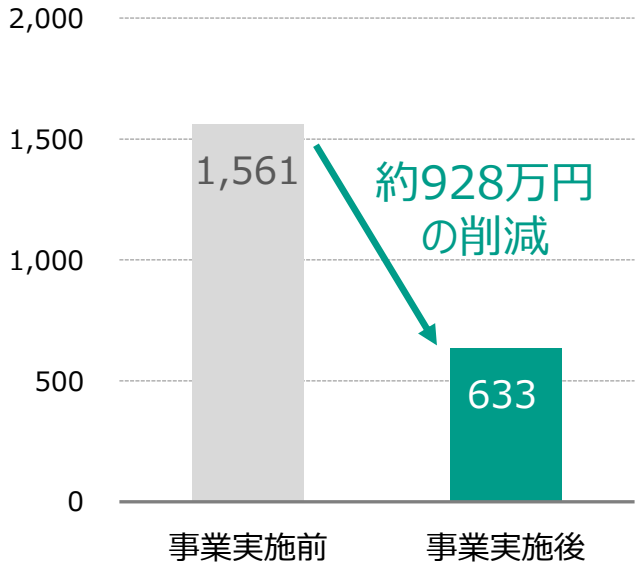
CO_2削減量	約199t-CO_2／年
CO_2削減コスト	7,100円／t-CO_2

CO_2排出量（t-CO_2／年）



新しい都市ガス給湯器、電気温水器、電気式パッケージエアコンの導入によって、事業実施前と比較してCO_2排出量が年間199トン削減した。

エネルギーコスト（万円／年）



新設備導入により、個別に空調調整が可能となりエネルギー効率が向上したことで、年間928万円のエネルギーコストが削減された。

【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、都市ガス：120,680円／千Nm^3（出典：資源エネルギーHP）、電力単価：21.7円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

⑧新しい給湯設備と空調設備の導入による施設運営の効率化と地域貢献

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ **「新しい都市ガス給湯器、電気温水器、電気式パッケージエアコンの導入」によって、CO_2削減以外に、以下のような副次的効果があった。**

- メンテナンスフリーになったことで点検時の立会が不要となり、通常業務に集中できる環境が整備された。
- 入所者の要望に応じて、居室単位で空調設定が可能となり、快適性が向上した。
- 都市ガスや電気エネルギーへ燃料転換できたことで、灯油燃料不足による設備停止のリスクが解消した。
- 設備更新を通じて施設運営の柔軟性が向上し、特別養護老人ホームへの転換も可能となった。

メンテナンスフリー化

実施前 メンテナンスや点検の立会が必要。



実施後 メンテナンスや点検の立会が不要。



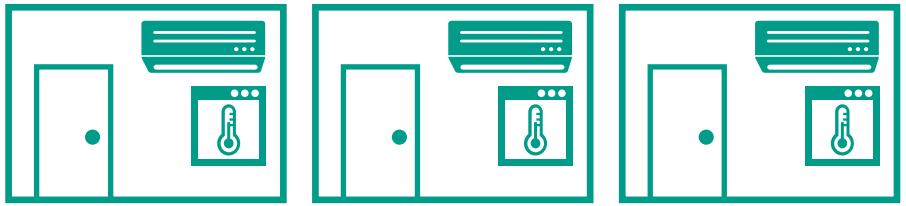
メンテナスフリーになったことで点検時の立会が不要になり、業務環境と効率性が向上した。

居室ごとに空調調節が可能

実施前 空調の温度調整は統一されており、居室ごとの調整は不可。



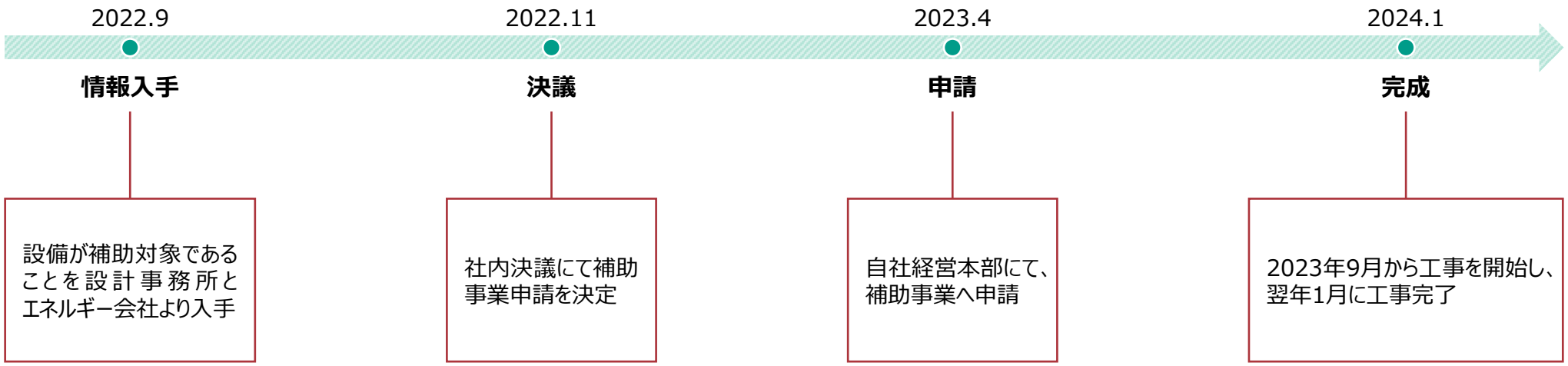
実施後 居室ごとに空調の設定が可能。



入所者の要望に応じて居室単位で空調設定が可能となり、快適性が向上した。

⑧新しい給湯設備と空調設備の導入による施設運営の効率化と地域貢献

事業の経緯／今後の予定



事業者の声

渦尻　純一
社会福祉法人 清里　経営本部　事務局長

- 灯油から都市ガス、電気エネルギーに燃料を転換したこと及び最新設備に更新したことで光熱費の削減が実現した。付随して二酸化炭素の排出量も減少し、環境貢献もできた。
- 個別空調／給湯化により、利用者の皆さんの快適さも向上したと感じている。
- 補助金の申請はなかなかハードルが高いが、補助金を活用することで低コストでの設備更新が実現し、満足している。